

人間の天敵は内にあり・・・

感謝心

昨年の平成17年を表わす漢字が「愛」だったそうです。ここ数年、夢や希望とかけ離れた字が続いているのでその反動：とか、紀宮様の結婚、愛・地球博の成功、ゴルフの宮里藍や卓球の福原愛の活躍等が、昨年を言い表す漢字として「愛」となったようですが、それにしても思まわしい事件が立て続けに起きた直後の「愛」とは、かなり強烈です。自分でもし子供を殺された親だったら、きつと髪の毛が逆立った事だろうと思います。昨年は「20」の事故やバングラディシユの大地震、アメリカのハリケーンで被害：と、大変な年でした。震度五程度でも壊れる恐れがあるマンションやホテルなど、設計士、建築会社、マンション業者などがグルとなった耐震データ偽造は、全国で80ヶ所くらい在るといっていますから、この様な事が今まで通用していた事が恐ろしくなります。

だからこそ今、「愛」という事なのかもしれないですが、どうも昨年を言い表す文字とは言い難いように思う。今年こそ、この文字がピッタリとくるような年であってほしいと願います。

ところで、宇宙は百億くらいの規

模があるというのです。その百億の宇宙の1つが、我が地球の属する銀河系宇宙です。現代文明では、この銀河系宇宙の大きさをほぼ把握しているそうです。形は楕円形で、光の速度（光速）で直径が1秒間に地球を7周半回る速度）で直径が十万年、厚さが1番厚いところで1万5千年かかる距離だといふ。あまりのスケールに言葉もありません。その宇宙の中で地球だけに生命が宿されている。宇宙から見た地球はもの凄く美しいと、宇宙飛行士達は口を揃える。それはおそらく、地球に住む生命体が発するオーラが、地球を美しく輝かせているに違いないと確信します。その地球に住む生命体に宇宙は等しく天敵を与えました。もし天敵がいなければあらゆる生命は増長し、蔓延（まんえん）、はびこるからです。それは調和を愛する宇宙の心に反するという事でしょう。ただ、限らない生命体の中で人間にだけ天敵がいまません。

何故でしょうか？ 私も長い間の疑問でしたが、ある時思い至りました。実は人間の天敵は外ではなく、まさに心の中にいるのだ、と…。人間を襲い、蝕む天敵。それは心の中に巣くう不平不満であるという事です。

事あるごとに湧き起こってくる不平、不満、愚痴こそ、人間を滅ぼす天敵であります。

歌人の生方たつゑさんの母は、少女の頃、ともすれば不満顔をするたつゑさんに、「**不満を持つ間は、人は幸せからはじき返されますのや**」とよく言い

聞かせたといひます。人間を損なう天敵の対極にあるもの、それが『感謝』の心であります。

心が「感謝の想い」に満ちあふれた時、あらゆる不平不満は一気に消え去ります。感謝こそ人間という生命体を健やかに成長させる根幹であると信じます。

話は飛びます…。読者の中には、全国で開催されている「**人体の不思議展**」に足を運ばれた方もおいでだと思ひますが、この展覧会の主旨は、『**今まで人体標本といえは医学、特に解剖学という専門分野でしか知り得なかつた世界を一般に公開し、人体標本を通じて、人間とは、「命とは」「からだとは」「健康とは」**を来場者に理解、実感していただき、またその人体標本が「あなた自身である」ことの共感を得る』ことでした。

中でも、『**プラスチック標本**』は、人間の生命に畏怖に近い感動を覚えました。この新技術で作られたプラスチック標本は匂いもなく、また弾力性に富み、直に触れて観察でき、常温で半永久的に保存できる画期的な人体標本でした。殊に全身に行き渡つた血管網と神経細胞の標本は、私達の人知をはるかに越えていました。身体の隅々に至るまで、微妙かつ精巧に、そして見事な調和の中に、1点のねじれも、もつれもなく配列されたその様は、神仏の領域そのものでした。しかもその1本1本がそれぞれの役割を与えられ、その役割を果たして全体に帰依している。全知全能の神仏でなければ創造し

得ない世界がそこにありました。人間はすでに奇跡のような生命を頂いて生きている。いや「生きて」いるのではなく、限らない恩の中、「生かされて」いる事を再認識させられました。理屈なしに、そう直感するしかない世界が、そこにありました。「恩」という字は「口」と「大」と「心」から成っています。「口」は環境、「大」は人が手足を伸している姿です。

何のお陰でこの様に手足を伸しておられるのか、と思つ心が「恩を知る」ということでもあります。「我々は天地の恩、人間の恩、道の恩、教えの恩など、あらゆる恩の中にある。これに絶えず報いていくのが生活である」。この様に感謝報恩の人生を歩みたいものです。仏教の唯識の世界には、私達は同じ縁の中で生活し、その縁があればこそ様々な出来事があるという意味の言葉があります。全ては頂いたご縁だから、絶対にこれを粗末にすることなく、生かされている命を全うするように、今月も精進していきますよ。合掌

副住職 谷川寛敬

